

**【演題名】**

平戸度島スタディ (MGD 検診): 脂質・n-3 系脂肪酸とマイボーム腺機能不全との関係  
(38/40 文字)

**【ショートタイトル演題名】**

脂質・オメガ3 摂取と MGD (13/15 文字)

**【英文タイトル】**

Takushima Study: Relation between Dietary Total and N-3 Fatty Acids and MGD

(75/80 文字)

**【演者】**

○福岡詩麻<sup>1)3)</sup>、有田玲子<sup>2)4)</sup>、溝口尚則<sup>2)5)</sup>、川島素子<sup>2)6)</sup>、高静花<sup>2)7)</sup>、白川理香<sup>2)3)</sup>、鈴木崇<sup>2)8)</sup>、児林聡美<sup>9)</sup>、佐々木敏<sup>9)</sup>、森重直行<sup>2)10)</sup>

1) 大宮はまだ眼科 2) LIME 研究会 3) 東京大 4) 伊藤医院 5) 溝口眼科 6) 慶應大 7) 大阪大 8) 東邦大大森 9) 東京大社会予防疫学 10) 大島眼科病院

Department of Social and Preventive Epidemiology

**【目的】** 平戸度島での疫学調査で、島民の食事に含まれる総脂質(以下 FA)・n-3 系脂肪酸(以下 n-3)摂取とマイボーム腺機能不全(以下 MGD)罹患との関係について検討を行った。

**【方法】** 対象は、20 歳から 92 歳まで(平均 62±16 歳)の島民 300 名(男性 109 名、女性 191 名)。簡易型自記式食事歴法質問票を用いて、エネルギー調整済み FA・n-3 摂取量 (g/日)を推定、MGD ワーキンググループの診断基準に従い MGD を診断した。MGD 罹患に対する FA と n-3 摂取量に関して Logistic 回帰分析を用いて全体、男女別にオッズ比を推定した。

**【結果】** 平均 FA 摂取量は全体 50.7±11.7 g/日、男性 48.4±14.1 g/日、女性 53.5±9.3 g/日、平均 n-3 摂取量は全体 2.6±1.0 g/日、男性 2.6±1.3 g/日、女性 2.6±0.7 g/日であった。MGD は全体 300 名中 106 名 (35%)、男性 109 名中 50 名 (46%)、女性 191 名中 56 名 (29%)であった。5 分位層別で摂取量最多群と最少群との調整後オッズ比 (95%CI) (年齢、性別、Body mass index (BMI)、全身疾患の有無、職業で調整)は、FA は全体 0.40 (0.15、1.03)、男性 0.39 (0.09、1.75)、女性 0.26 (0.07、0.96)、n-3 は全体 0.45 (0.19、1.07)、男性 0.48 (0.10、2.21)、女性 0.61 (0.21、1.82)であった。

**【結論】** 平戸度島において、FA と MGD に関して成人全体と成人男性では有意な関係はなかったが、成人女性では高脂質摂取により MGD 罹患率が低くなる可能性が示唆された。n-3 と MGD に関しては有意な関係はなかった。

学会サイトで 595/600 文字

利益相反 有田玲子 P, C III(興和、日本ルミナス) FIV (参天、TearScience)

溝口尚則、川島素子、森重直行 なし

高 静花 FIV (SEED)

福岡詩麻 FIV (参天)

白川理香 F II (中央産業貿易)

鈴木崇 FI~III 千寿製薬、興和、HOYA、ボシュロム・ジャパン、

IV メニコン、CI~III メニコン、ジョンソン&ジョンソン、

RI~III メニコン、参天製薬、HOYA、千寿製薬、大塚製薬、アルコンファー

マ、ジョンソン&ジョンソン、オフテクス

児林聡美 佐々木敏 なし

残差法によりエネルギー調整

BDHQ (簡易型自記式食事歴法質問票: brief-type self-administered diet history questionnaire)

年齢、性別、Body mass index (BMI)、全身疾患の有無、職業で調整